
すごいポケモン物語

竜斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すごいポケモン物語

【Nコード】

N1448W

【作者名】

竜斗

【あらすじ】

ポケモン物語がものすごいことになります（笑）
（多分、他の作品のパロディも混ざっています）

簡単すぎる登場人物紹介（前書き）

登場人物紹介

簡単すぎる登場人物紹介

リュウト（作者の竜斗ではなく、ポケモンXDのリュウト）

ポケモン達

それはまだ秘密です。

オーキド博士

ポケモン図鑑持っている人。

リュウトのライバル

リュウトをライバル視している。

道具一覧

モンスターボール

技マシン

傷薬

ポケモン図鑑

ひでんマシン

○○の石系

スーパーボール

マスターボール

簡単すぎる登場人物紹介（後書き）

次回、ストーリー。

第1話 始まり（前書き）

ストーリー、始まる。

第1話 始まり

リュウトの家・リュウトの部屋・ベッドにて。

リュウト「ふあああああ・・・」

こちらがこの小説の主人公、リュウト（ポケモンXD）。

リュウト「さーて、あのオーキド博士のところに行こうかな」

リュウトは朝食を食べ、オーキド博士の元に行った。

オーキド博士の研究所にて。

リュウト「オーキド博士、用は何ですか？」

オーキド「ああ、リュウトくんか！実はポケモンが4匹あまっています」

リュウト「それなら、一匹だけなら貰いますが？」

オーキド「ありがとう、リュウトくん。どのポケモンにする？」

オーキドが出したポケモンは、ヒノアラシ、ワニノコ、チコリータ、ピカチュウだった。

リュウト「ピカチュウが欲しいです！」

オーキド「よしてきた！ピカチュウをあげるぞ」

オーキドはピカチュウをリュウトにあげる。

ピカチュウ

LV 5 HP 55

覚えている技

1 ????

2 ????

3 ????

4 ????

リュウト「何だよ、何も覚えて無いじゃんか、このネズミ！」

ピカチュウ「ネズミって呼ぶんじゃねえ！」

リュウト「うわ、喋った！」

オーキド「言い忘れたけど、そいつ日本語ペラペラだから」

リュウト「うぜえ」

ピカチュウ「うるせえ、のび。ザの健。似が！」

リュウト「ひど」

オーキド「では、新たな旅に行くのじゃ、リュウトくん！」

リュウト「いつからそんな設定になってんの!？」

オーキド「ほらほら、行った行った！」

リュウト「・・・ヘイ」

リュウトとピカチュウはオーキド博士の研究所から出た。

リュウト「んだあのジジイ・・・。」

ピカチュウ「そんな事気にせず、行くぞ！」

リュウト「おう」

次回に続く。

第1話 始まり（後書き）

次回、ライバルと戦う！

第2話 ライバルと戦い（前書き）

ライバルと戦う！

第2話 ライバルと戦い

????? 「待ちな！」

リュウト 「? 誰だ!？」

????? 「俺は、シゲル」

草むらのほうからシゲルが出てくる。

シゲル 「あのクソジジイからポケモン貰ったのか？」

リュウト 「おお」

シゲル 「だったらポケモンバトルしようぜ！」

リュウト 「はあ!？突然何言ってるのあんた？」

シゲル 「ゲームでは必ず戦うことになってるからな・・・」

リュウト「そんな理由で!？」

シゲル「とにかく、俺と勝負だ！」

リュウト「・・・良からう！」

ポケモンバトル

リュウト「行け、ピカチュウ！」

ピカチュウ「任せとけ！」

リュウトはピカチュウを出す。

リュウト 手持ちポケモン1匹

ピカチュウ LV 5 HP 55
覚えている技

1 ????

2 ????

3 ????

4 ????

リュウト「どう見ても圧倒的に不利だろ!？」

ピカチュウ（無視）「よし、・・・あれ？」

あ。俺、何も技覚えてないんだった」

リュウトはがっかりする。

シゲル「はっはっは！技もなきゃ終わりだな！」

シゲルは高笑いする。

ピカチュウ「いや。まだだ」

シゲル「何だ？技も持っていないのか？」

オクタン「ぎゃあああああああああ……!!」

シゲル「何で俺までええええええええええ!!……!!?」

9999のダメージ オクタン戦闘不能。

ピカチュウ「へっ!!ざまー見る!!」

シゲルは何とも無かった様に起き上がる。

シゲル「くっそー、覚えてろー!」

第2話 ライバルと戦い（後書き）

次回、ニビシティー！

第3話 トキワの森&ニビシティー（前書き）

リュウト 手持ちポケモン1匹

ピカチュウ LV 99 HP800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 ????

3 ????

4 ????

第3話 トキワの森&ニビシティー

トキワの森

リュウト「よし。ポケモン1匹捕まえたぞ」

ピカチュウ「お？どんなポケモンだ？見せてくれ」

リュウトは新しく捕まえたポケモンを見せる。

リュウト「ビードル」

ピカチュウ「勝てんのそれで！？タケシに！？」

リュウト「まあ、まあ、ピカチュウ。お前みたいに強い技覚えれるかもな」

ピカチュウ「・・・まあ、そういう可能性は大だな」

リュウト「ビードルのステータスはこうさ」

ビードル L V 15 HP 160

覚えている技

1 毒針

2 ? ? ? ?

3 ? ? ? ?

4 ? ? ? ?

ピカチュウ「レベル15もある野生のビードルなんて見たことねえ
よしかもHP160だし」

リュウト「これは作者の問題じゃん？」

リュウト達はトキワの森を抜け出した。

ニビシティー

リュウト「よし、やっと着いた」

ピカチュウ「さっさとあいつのところ行こうぜ！俺の自慢のオルフエウスが暴れたがってる」

リュウト達はニビジムに急いだ。

ニビジム

タケシ「俺はタケシだ。お前は何者だ？」

リュウト「俺はリュウト！」

タケシ「リュウトか・・・よし、相手になろうというのか。

使用ポケモンは2体まで！ポケモンが戦闘不能になったり一度出したポケモンを戻したりしたらそれでそのポケモンはもう使えない。

このルールで行くぞ？」

リュウト「上等じゃ！」

タケシ「では・・・。3、2、1、ゴーシュート!!!!!!!!!!」

タケシ以外「全然違う!!!!!!!!!!」

ポケモンバトル・スタート！

リュウト「行けピカチュウ！」

ピカチュウ「行くぜ！」

リュウトはピカチュウを出す！

リュウト 手持ちポケモン2匹

ピカチュウ LV 99 HP 800
覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 ????

3 ????

4 ????

ビードル LV 15 HP 160
覚えている技

1 毒針

2 ????

3 ????

4 ????

タケシ「行けイシツブテ！」

イシツブテ「やっと暴れられるぜ！」

イシツブテ L V 7 0 H P 6 6 0

覚えている技

1 岩石落とし

2 怪力

3 ????

4 ????

ピカチュウ「ちっ、イシツブテか。俺、地面にまったく弱いんだよ・・・」

リュウト「でも、やってみなきゃわからないよ！」

ピカチュウ「・・・そうだな！」

タケシ「どうした？かかってこないのか？」

リュウト「そのセリフどっかで聞いた様な・・・」

ピカチュウは前に出る。

リュウト「お？行くんだピカチュウ！」

ピカチュウ「OK！」

タケシ「愚かな・・・弱いと分かっている癖に・・・。」

ピカチュウ「ふん、俺の技を喰らうがいい！」

タケシ「？」

!!!

オルフェウスはイシツブテにメギドラオンを放つ！

ドガーーーーン!!!!!!!!!!!!!!

「イシツブテ、ぎゃああああああああああ……！！！！！！」

9999のダメージ
イシツブテ
戦闘不能……

タケシ「クソ、戻れイシツブテ！次、イワーク！」

イワーク「ヒャハハ……！！！！！！！！！！」

イワーク、登場！

リュウト「お？この調子でピカチュウ行くんだった！」

ピカチュウ「悪い、俺ちよつと休む。」

ペルソナは大きい技を使える代わりに

物凄い気力使ったよ」

リュウト「ええっ！・・・」

戻れ、ピカチュウ、行けビードル！」

リュウトはビードルを出す！

ビードル「ビー！！！！！！！」

タケシ「ふん、ビードルか・・・。征伐してくれるわ！

行けイワーク、岩石封じ！」

イワーク「死ねえええええ！！！！！！！」

ビードル「・・・フン、クソが」

イワーク「えっ！？何だと！？」

ビードルは体に何かを溜める！！！！！！！

ビードル「ご主人様とピカチュウはこの俺が守る！！！！！！
食らえ！！！！！！」

タケシ&イワーク「な 何だあ、あれは！！！！！！？」

ビードル「必殺！！！！！！」

ビードル「光浄裁！！！！！！」

リュウト「幽遊白書ですかああああああああ！！！！！！！」

ビードルは光浄裁をイワークに放つ！！！！！！

ビードル「浄・・・・！！！！！」

イワーク「・・・・ぐはっ！！！！！」

イワークに500のダメージ！

イワーク 戦闘不能・・・・。

ビートル「俺をなめんなよこのご主人様に群がるクソ害虫どもめ」

バトルが終わって。

タケシ「負けた・・・。ほら、持ってけ「グレイバッジ」だ」

リュウト「勝った！やったぜ！」

次回に続く！

第3話 トキワの森&ニビシティー（後書き）

リュウト 手持ちポケモン2匹

ピカチュウ LV 99 HP 800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 ????

3 ????

4 ????

ビードル LV 50 HP 530

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 ????

4 ????

次回、お月見山！

第4話 お月見山（前書き）

リュウト手持ちポケモン2匹

ピカチュウ Lv99 HP800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 ????

3 ????

4 ????

ビードル Lv50 HP530

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 ????

4 ????

第4話 お月見山

お月見山にて。

リュウト「この階層を越えたら化石の間に出るだろう」

ピカチュウ「早く行こうぜ！」

化石の間

リュウト「あった！化石だ！」

????「待ちな・・・これは全て俺のものだ」

リュウト「!?誰だ!?!」

リュウトの前に謎の敵が現る!

?????「俺の名はロケット団員だ」

リュウト「団の名前がお前の名前かよ」

ロケット団員「とにかく、俺と勝負だ!

使用ポケモンは2体でどうだ?」

リュウト「・・・よし、受けて立とう!」

ポケモンバトル

リュウト「行け、ビードル！」

ビードル「やってやるうじゃんよ！」

ビードル L V 5 0 H P 5 3 0

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 ? ? ? ? ?

4 ? ? ? ? ?

ロケット団員「フン、ビードルか……。行け、ドガース！」

ドガース「ドガーーーーーッス!!!!!!!!!!!!!!」

ドガス LV52 HP600

覚えてる技

- 1 体当たり
- 2 スモッグ
- 3 火炎放射
- 4 ？？？？

ロケット団員「行け、ドガス！火炎放射だ！」

ドガス「ドガーーーーー！ス！！！！！」

ボオオオオオオオオオオ！！！！！！

リュウト「火炎放射！？ビードル！光浄裁だ！！！」

ビードル「OK！」

ビードル「光浄裁!!!!!!!!!!」

ドガース「えっ？」

ビードル「浄……!!!!!!」

ドガース「ぐはっ……!!」

ドガース 戦闘不能……。

ロケット団員「な！？何て技だ！クソ戻れ、アーボ出て来い！」

アーボ「シャアアアアア！！！！！！」

アーボ L V 9 9 H P 1 5 0 0

覚えてる技

- 1 まきつく
- 2 かみつく
- 3 ？？？？
- 4 ？？？？

ビードル「HP桁外れじゃん」

リュウト「・・・戻れ、ビードル！行け、ピカチュウ！」

ピカチュウ「行くぜええええええ！！！！！！」

ロケット団員「・・・フツ、楽勝だな」

リュウト「ピカチュウ！あの新技だ！」

ピカチュウ「わーってるって！喰らえ！」

ピカチュウ「トリニティリミット……！！！」

ロケット団員「ちょ、それってキング○○ハーツの技じゃね……！！！！？」

ピカチュウ「俺は何でもありなのさ。死ねい……！！！」

ズバンズバンズバンズバンズバンズバンズバンズバン……！！！！

アーボ「ぐはっ……！！」

ピカチュウ「終わりだ……！！！！！」

ズバン!!!!!!!!!!

アーボ「そんなああああ」

アーボ 戦闘不能・・・。

ポケモンバトルが終わって。

ロケット団員「負けた・・・」

リュウト「よっしゃ!」

ロケット団員「ほら、カブトの化石とオムナイトの化石やるよ」

リュウトは『カブトの化石』と『オムナイトの化石』をゲットした!

リュウト「次行くぞ！」

第4話 お月見山（後書き）

リユウト手持ちポケモン2匹

ピカチュウ Lv99 HP800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 トリニティリミット

3 ??????

4 ??????

ビードル Lv72 HP600

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 ??????

4 ??????

次回、ハナダシティー！

第5話 ハナダシティー（前書き）

リユウト手持ちポケモン2匹

ピカチュウ Lv99 HP800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 トリニティリミット

3 ????

4 ????

ビードル Lv72 HP600

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 ????

4 ????

第5話 ハナダシティー

リュウト「やっとハナダシティーに着いた」

ビードル「さ、カスミ倒しちまっちゃおうぜ」

ハナダジム

リュウト「カスミはいるかーーーーー!？」

カスミ「あら、何の用だ？」

リュウト「俺とブルーバッジを賭けた公式バトルをやるんだ!」

カスミ「OK、使用ポケモンは2体でどうだ？」

リュウト「勿論だ」

カスミ「なら始めよう」

ポケモンバトル

リュウト「行けピカチュウ！」

ピカチュウ「やるぜー！」

リュウト手持ちポケモン2匹

ピカチュウ LV99 HP800

覚えている技

- 1 ペルソナ召還「オルフェウス」
- 2 トリニティリミット
- 3 ????
- 4 ????

カスミ「行けヒトデマン！」

ヒトデマン「デュワ！」

ヒトデマン L V 8 0 H P 7 0 0

覚えてる技

- 1 体当たり
- 2 ハイドロポンプ
- 3 ????
- 4 ????

リュウト「進化させるよ」

カスミ「うるさい！ヒトデマン！特大のハイドロポンプで

ピカチュウを殺りなさい！」

ヒトデマン「デュワ！！！！！！！！！！」

ボバ——————！！！！！！！！！！

ピカチュウ「やれやれ……。俺も見下されたようだ……。」「

リュウト「お！？あれか！？」

ピカチュウ「ああ」

ピカチュウ「トリニティリミット……………」

スターミー L V 9 0 H P 8 0 0

覚えてる技

1 ハイドロポンプ

2 水鉄砲

3 バブル光線

4 ????

リュウト「ならこつちも代える！ビードル！出て来い！」

ビードル「やつたるぜー！！！！！！」

カスミ「ふん、何を出すかと思えば・・・。ビードルか」

リュウト「ビードルを甘く見んなよ、行けビードル！あの新技だ！
！！！！！！」

ビードル「ああ！」

ビードル「コスモメモリー……！！！！！！」

カスミ「FFかああああ！！！！？」

~~~~~  
~~~~~

スターミー「ぎゃあああああああ……!!!!」

50000のダメージ スターミー 戦闘不能・・・。

ビートル「だからご主人様が甘く見るなよと言ったんだ」

ポケモンバトルが終わって。

カスミ「負けたわ……。ほら持って行きなさい」「ブルーバッジ」
よ」

リュウト「やったあ！」

カスミ「っていうかビードルがコスモメモリー使えるなんてあり得
ねーよ」

リュウト「ビードル、並の鍛え方してないからな」

次回に続く！

第5話 ハナダシティー（後書き）

リュウト手持ちポケモン2匹

ピカチュウ Lv99 HP800

覚えている技

1 ペルソナ召還「オルフェウス」

2 トリニティリミット

3 ??????

4 ??????

ビードル Lv90 HP720

覚えている技

1 毒針

2 光浄裁

3 コスモメモリー

4 ??????

次回、クチバと決闘！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1448w/>

すごいポケモン物語

2011年10月9日03時04分発行